

問4 「安全で機能的なまちづくり」について

【現状評価】

1. 地域において自主防災組織の活動が活発におこなわれている
2. 治水や砂防などの災害対策が十分に行われている
3. 消防・救命救急活動が迅速かつ適切におこなわれている
4. 消費者トラブルや事故・犯罪のおきにくい生活環境がある
5. 都市と自然のバランスが取れた土地利用・開発がおこなわれている
6. 快適で魅力のある中心市街地が形成されている
7. インターネットなどの情報利用環境が整っている
8. 各交通機関がうまく連携した交通網が構築されている
9. 広丘駅及び周辺施設の整備が行き届いている
10. 市内の道路整備・維持管理が十分におこなわれている
11. 誰もが安心して歩くことのできる歩道が整備されている
12. 良好な住宅・住環境が整っている
13. 安全で安定した給水・排水環境が整備されている
14. 公園・緑地がきれいで利用しやすく整備されている
15. 安らぎを与える墓地・斎場が整備されている

【満足度評価】

- 「安全で機能的なまちづくり」に対する満足度

【現状評価と満足度の関係性】

- 重回帰分析結果

《重要》 結果を見る前に確認してください

P20とP21-22の平均値の違いについて

P20に示される平均値とP21-22に示される平均値の値は若干異なります。これは、P20に示される数値が各項目に回答した回答者全員の平均値であるのに対して、P21-22に示される数値は重回帰分析の実施にあたり、**問4**の質問項目全てに回答した回答者の平均値を示しているためです。

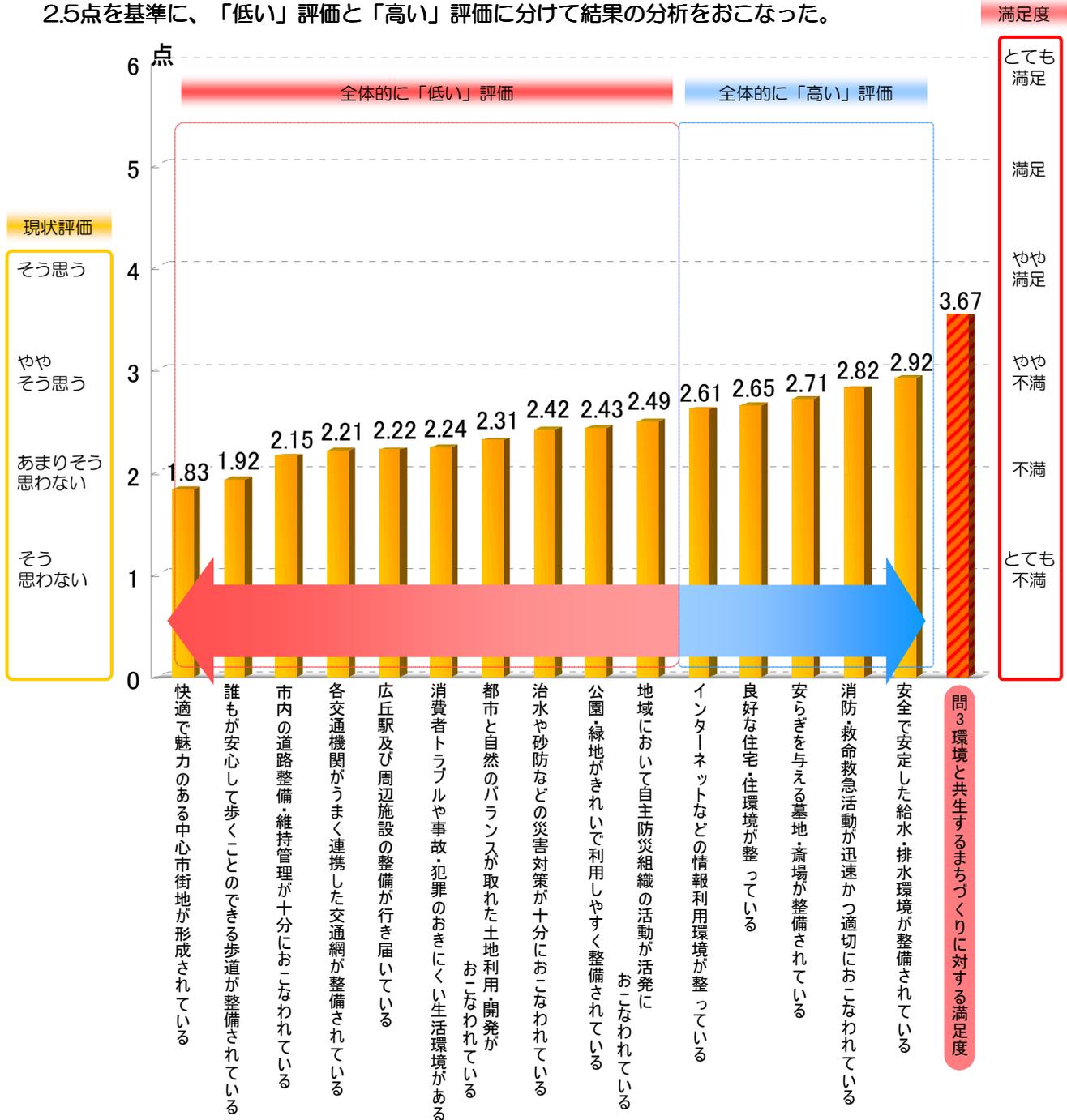
P20-21の寄与率と有意確率・検定結果について

「寄与率」とは重回帰分析によって示された「現状評価が満足度評価に与える影響力の大きさ」です。「有意確率」とは、「影響(寄与)が偶然によるものかどうか」を統計的(確率的)に検定する基準です。統計的検定の仕組みは省きますが、社会調査では90%以上を統計的に信頼できると判断することが多く、検定結果では○で示してあります。なお100%は四捨五入の値であり、限りなく100%に近いことを意味しますが、影響の絶対性を保証するものではありません。また、各項目の寄与率の合計は通常100%にならず、多くの調査では50～60%となります。これは、本調査の項目以外に満足度に影響を与えるような無数のその他要因があるためです。

「ともに築く
自主と創造の田園都市」
実現に向けて

問4. 「安全で機能的なまちづくり」に関する評価の状況

塩尻市の「安全で機能的なまちづくり」について様々な場面の現状と全体的な満足度を評価した。2.5点を基準に、「低い」評価と「高い」評価に分けて結果の分析をおこなった。



「安全で機能的なまちづくり」に対する住民の評価（要約）

- 住宅環境やそれを支えるインフラ整備、消防・救急に対する評価は比較的高い。
- 防災・防犯に対する取組みや都市・公園整備などの中間的な評価よりもやや低い。
- 市内の道路・交通整備や中心市街地の整備について低い評価となっている。
- 総合的な判断として塩尻市の「安全で機能的なまちづくり」は「やや満足とやや不満の中間的な評価」

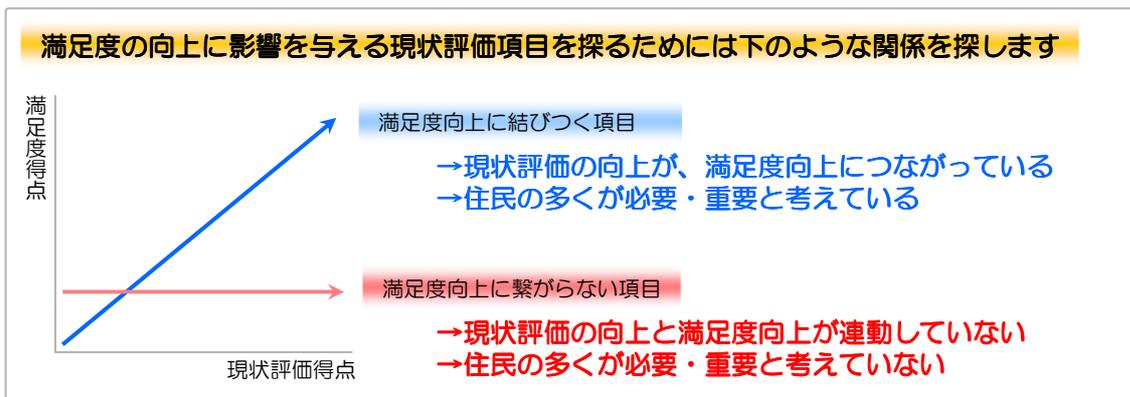
問4. 「安全で機能的なまちづくり」において満足度を高める要因分析①

塩尻市において、「安全で機能的なまちづくり」に住民が満足するためには
 どのようなことが求められているのかを **現状評価** と **満足度評価** の結果から分析をおこなった。



どのような **現状評価** 項目が改善・充実する(評価が上がる)と「安全で機能的なまちづくり」
 に対する **満足度評価** が向上するのかを「重回帰分析」と呼ばれる統計分析で検討し、今後の取
 組みの **重要度評価** をおこなった。

● 満足度評価に影響を与える現状評価項目の把握 (重回帰分析のしくみとなる相関について)



手続き①：重回帰分析の結果(寄与率順)

※寄与率・有意確率・検定結果についてはP19参照

評価項目	平均値	寄与率	有意確率	検定結果
(14)公園・緑地がきれいであり利用しやすく整備されている	2.39	21.98%	99.99%	○
(15)安らぎを与える墓地・斎場が整備されている	2.62	16.04%	99.93%	○
(12)良好な住宅・住環境が整っている	2.59	10.11%	94.27%	○
(5)都市と自然のバランスが取れた土地利用・開発がおこなわれている	2.33	5.84%	74.96%	-
(6)快適で魅力のある中心市街地が形成されている	1.94	5.04%	86.80%	-
(11)誰もが安心して歩くことのできる歩道が整備されている	2.05	4.61%	62.28%	-
(9)広丘駅及び周辺施設の整備が行き届いている	2.34	4.04%	75.15%	-
(4)消費者トラブルや事故・犯罪のおきにくい生活環境がある	2.29	3.31%	67.30%	-
(8)各交通機関がうまく連携した交通網が構築されている	2.34	1.69%	33.38%	-
(7)インターネットなどの情報利用環境が整っている	2.53	1.60%	35.30%	-
(10)市内の道路整備・維持管理が十分におこなわれている	2.22	-1.46%	22.65%	-
(1)地域において自主防災組織の活動が活発におこなわれている	2.49	-1.95%	58.56%	-
(2)治水や砂防などの災害対策が十分におこなわれている	2.42	-2.38%	45.94%	-
(3)消防・救命救急活動が迅速かつ適切におこなわれている	2.70	-3.01%	62.67%	-
(13)安全で安定した給水・排水環境が整備されている	2.84	-4.55%	66.88%	-

※ 上表の平均値が前頁得点とやや値が異なるのは、重回帰分析をおこなう上で問4の項目全てに回答している必要があり、アンケート回答に漏れがあった回答者を除いて再分析したため

「安全で機能的なまちづくり」に対して満足を感じるためには・・・

- 公園・緑地がきれいであり利用しやすく整備されている
- 安らぎを与える墓地・斎場が整備されている
- 良好な住宅・住環境が整っている

**満足度向上に
影響(寄与)する項目**

の3つの現状評価項目に関して改善や充実が必要である可能性が示された

重要度評価

問4. 「安全で機能的なまちづくり」において満足度を高める要因分析②

満足度評価 に影響を与える 現状評価 のうち、現在「低い」評価がされている項目と現在「高い」と評価されている項目を把握し、分野としての 重要度評価 をおこなった。

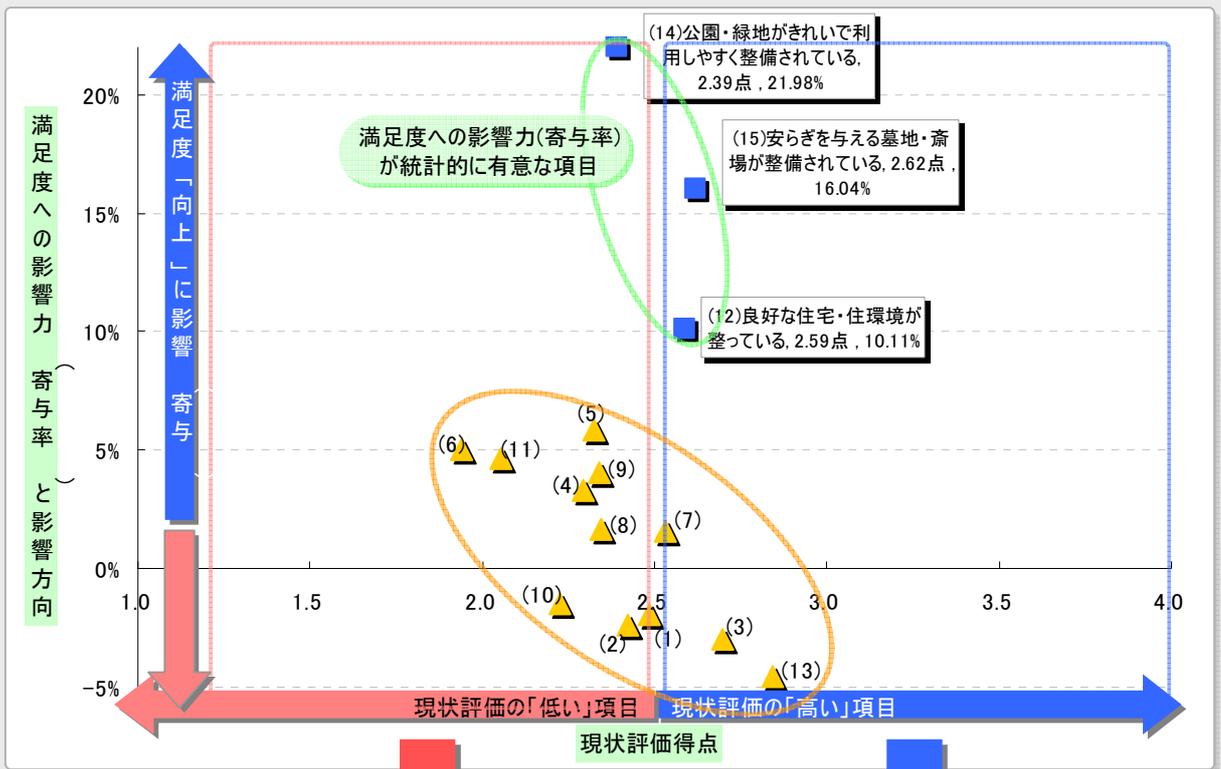
●満足度評価に影響を与える現状評価項目の把握（重要度把握のしくみ）

重要度の高い現状評価項目を探るには下のマトリクスを参考に結果を見ます

	現状評価【低い】	現状評価【高い】
満足度への 影響力【大】	現状の大幅な改善・ 充実が早急に必要	現状を基準にさらに 満足度向上を目指す
満足度への 影響力【小】	現状評価の向上が必要	現状維持

手続き②：重要度分析の結果

統計的に影響力が無いと判断された項目の項目名は前頁の評価項目番号を参照



公園・緑地の整備に対する現状評価は中間よりもやや低い評価となっているが、満足向上への影響力が大きい項目である。現状を早急かつ抜本的に改善する必要性の高い分野である。

良好な住宅環境や安らぎを与える墓地などに対する現状評価は中間よりもやや高い評価となっており、満足度向上への影響力が大きい項目である。今後も継続的に更なる充実のために施策を検討する必要性の高い分野である。